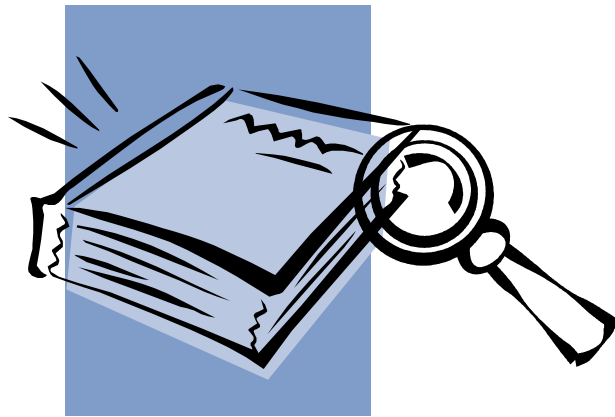


特 集

レファレンスサービスへ ようこそ！

利用者と資料・情報を結びつける大切な業務「レファレンスサービス」。今回の特集では、このレファレンスサービスの流れや参考となるツールなど、日々のレファレンス業務に役立つ情報を紹介します。



レファレンスサービス

情報を求めている利用者に対して、図書館員が提供する個人的援助。
回答となる情報そのものや、回答の含まれる情報源を指示・提供すること。

〔参考文献〕『図書館用語集』（2003年 日本図書館協会）

調査相談カウンターへようこそ!

岩手県立図書館の調査・相談カウンターでは、調べもののお手伝いをしています。一般的な事柄から郷土の歴史に関することなど、その内容はさまざま。レファレンスの問い合わせを受けてから回答に至るまでをご紹介します。

1 レファレンス依頼の受付

レファレンスは、カウンター以外にも電話やメール、文書などでも受付しています。このとき、次のようなことに注意しながら質問を受けるようにしています。

- ・ 質問の出所や調査済みの資料
(例：〇〇という雑誌に載っていた。『広辞苑』には載っていなかった など)
- ・ 具体的な内容の確認と分析 (例：「労働運動について知りたい」→世界の？日本の？岩手の？時代は?)
- ・ いつまでに必要なのか?

☆ レファレンス受付 ～カウンター編～ ☆

「あの～、県内の市町村の花・木・鳥にどんなものがあるのか、また、それらの由来について調べたいのですが…何に載っていますか？」

「わかりました、県内各市町村でシンボルとしている花・木・鳥とその由来ですね」

2 参考文献の調査

最初に、質問のキーワードとなる分野の資料を調べます。次に、その分野とつながりがあるものがないか、慎重に調査を進めていきます。時に、思わぬところで回答と結びついている場合も…。

☆ 調査開始 ☆

まずは、地方行政の分類(318)の棚をブラウジング[※]。このほかにも、各市町村を取り上げた資料がないか、周辺を探してみると…「!」

※ ブラウジング：本の拾い読みのこと。[参考文献]『図書館用語集』(2003年 日本図書館協会)

3 回答

参考文献または記述等を紹介します。このとき、次の点に気をつけるようにしています。

- ・ 必ず情報源に基づいた回答をする。
- ・ 情報源はできるだけ複数を提示する。
※ たとえ複数の資料に異なる記述があっても、どちらが正しいかなどの判断はしません。
- ・ 主観を加えない。

☆ 回答 ☆

下記の資料に市町村のシンボル(花・木・鳥)が掲載されていました。

『岩手年鑑』(岩手日報社)より「市町村現勢」

『岩手県市町村概要』(岩手県市町村振興協会)

由来については、各市町村史や「岩手県市町村地域史シリーズ」などを紹介。

自治体のホームページに、由来と併せて掲載しているところもありますね。



そうですか!
あとで確認してみます。

レファレンス Q&A

さらに、より詳しくレファレンスについて紹介します。



Q. どんなことでも調べてもらえるのですか？

- A. 次のような内容のものについてはお断りする場合があります。
- ・古書、古文書、美術品等の鑑定及び市場価格に関するもの
 - ・学習課題、卒業論文、懸賞問題その他これに類するもの
 - ・人生相談、医療・健康相談、法律相談、系図調査その他これに類するもの など

Q. では、自分の苗字がどういうルーツなのかといった質問には応じてもらえないのですか？

A. 参考文献の紹介などは可能です。例えば、次のような資料が参考になります。

- (例) 盛岡市出身のSさん 先祖は南部藩士だったらしい…
『岩手県姓氏歴史人物大辞典』(1998年 角川書店)
『南部藩参考諸家系図』全5巻(国書刊行会)

Q. 2006年のアジア各国の国内総生産(GDP)を知りたいのですが、電話で聞いても良いのですか？

- A. 行き違いを防ぐため、電話で直接、統計やデータなどの数字を列挙することは行っていません。資料の該当部分を直接ご確認ください。来館が困難な場合は、郵送複写や協力貸出などのサービスもご活用いただくようご案内しています。



Q. ある人物について、雑誌に掲載された記事を探しているのですが…。調べる手段はありますか？

- A. 雑誌の記事を探す時には、国立国会図書館の雑誌記事索引検索が便利です。また、6ページで紹介している県立図書館の電子資料も、記事の探索に便利です。協力レファレンス(※)でお申し込みいただければお調べいたします(電子資料の内容詳細については、県立図書館ホームページ「電子資料のご案内」をご覧ください)。



※市町村立図書館等に寄せられた調査・相談について、県立図書館が所蔵する資料を使って、調査・回答を行うことを当館の業務の中で協力レファレンスと位置付けています。[参考]『図書館協力の手引き』(平成19年5月版 岩手県立図書館)

Q. 調査完了したレファレンスは、どうしているのですか？

- A. 受付けたレファレンスは、情報共有やレファレンス動向の把握、統計、また、データベースの蓄積として有効に活用していきます。

レファレンスを通して考えること...

レファレンスサービスは、図書館の主要なサービスでありながら、まだ十分に浸透されているとはいえません。利用者の方がもっと気軽に質問できるよう、また、私たちスタッフも的確に回答できるよう取り組んでいきたいと思っております。

こちらでも活用ください。

答えはどの資料にある……？

レファレンス事例 データベース

郷土に関する事例を随時登録・更新しています。

詳しくはこちらから↓

☆「岩手県立図書館 HP」より

「資料のご案内・検索・予約」

⇒「質問検索サービス」

お役立ちツールの紹介

膨大な資料の中から、必要な事を探し出すのは、とっても大変。そんな時、役に立つのが、『電子資料』です。知りたいことが、素早く、簡単に探せます。

新聞の記事をさがしているなら…



「岩手日報」の記事を印刷するなら、「調査相談カウンター」へ!! 「岩手日報」は、明治30年4月からマイクロフィルムで見ることが出来るよ。

『岩手日報記事情報』

2004年4月以降の岩手日報の記事を検索できます。

1969年10月～2003年10月までは、冊子体での記事検索が可能です。

そのほか、『日経テレコン21』、『聞蔵IIビジュアル』、『ヨミダス文書館』、『毎日 News バック』、『The Sankei Archives』、『河北新報データベース』で、各新聞社の新聞記事の検索ができます。『日経テレコン21』は、企業情報、売れ筋ランキングなど新聞記事以外の情報も見ることができます。

雑誌記事をさがしているなら…

見たい記事が載っている雑誌が県立図書館にない時は、他館資料複写サービスを利用しよう! 雑誌を持っている図書館を探してお手伝いもしています。



『大宅壮一文庫雑誌記事索引目録』

1988年～2004年

人物でも事柄でも、調べたいことのキーワードを入力して検索でき、必要な記事が掲載されている雑誌の発行年月日・巻号・ページが簡単にわかります。

『NICHIGAI MAGAZINEPLUS』でも、雑誌記事の検索ができます。

法律・行政情報をさがしているなら…



「LexisNexisJP」、「官報検索情報サービス」「岩手県報オンライン版」では、見つけた情報を、印刷することも出来るよ。

『LexisNexisJP』

昭和23年以降に発行された公式判例集、「判例タイムズ」などに掲載された判例解説、現行法令、過去の主要法令ほか、判例掲載雑誌の記事も検索できます。

そのほか、『官報情報検索サービス』では、昭和22年5月3日（日本国憲法施行当日）からの官報を、『岩手県報オンライン版』では、最新の県報を見ることができます。

調べもののお供に、簡単で便利な電子資料を、ぜひご活用ください!
協力レファレンスも受付いたします。調査相談カウンターにお気軽にご相談ください。

調査・相談担当より、ひとこと

現在、調査・相談カウンターは8名のスタッフ（レファレンス担当は7名）で業務を行っています。レファレンス業務以外にも、さまざまな仕事があります。ここでは、調査・相談カウンターの日常の一コマを紹介します。

様々な資料を手にとれる喜びを胸に、調査に取り組んでいます。



マイクロ資料も大切な図書館資料です。

図書館に来て良かったと思ってもらえることが何より励みになります！



検索中！調査中！回答中！



新着資料を配架中、力仕事です。

今まで知らなかった郷土の歴史に触れて、岩手がもっと好きになりました。



はい！調査相談カウンターでございます。

たくさんの方に、“レファレンスサービス”を知ってもらいたい！

皆様の「知りたい」「しらべたい」のお手伝いをさせていただきます。



書庫にもたくさん本があります。

毎日が発見と勉強の連続、謙虚な気持ちを忘れず今後も精進を重ねていきたいです。



返却本をもとの場所へ。



ご希望の資料かな？調査のお手伝いです。

地域の情報発信基地として、縁の下の力持ちを努めたいと思います。



コピーの達人です。

利用者さんのお役に立てるように努力していきたいと思ひます。



どうぞこれからも宜しくお願いします！（調査・相談担当一同）

調べものは、調査・相談カウンターへ！！
わたしたちが、お手伝いいたします。